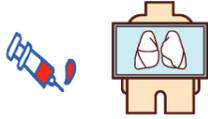


ロボット支援下膀胱全摘除術・回腸導管造設術を受ける患者さんへ（術後）

【患者さん用クリニカルパス】

ID: 患者氏名: 様

| | 手術当日（術後） | 術後1日目 | 術後2日目～3日目 | 術後4日目～6日目 | 術後7日目～10日目 | 術後11日目～14日目 | 術後15日目～21日目（退院） |
|---------|---|---|--|--|--|---|--|
| | 月 日 | 月 日 | 月 日 ～ 月 日 | 月 日 ～ 月 日 | 月 日 ～ 月 日 | 月 日 ～ 月 日 | 月 日 ～ 月 日 |
| 目標 | 痛みのコントロールができています。 | | 手術創に出血や感染がない。 | | ストーマの自己管理・装具交換ができる。 | | 退院後の過ごし方がわかる。 |
| 説明指導 | ご家族に医師から手術後の説明をします。 | ご家族の方に身体障害者申請書を持って手続きをしていただきます。 装具の補助金は、身体障害者手帳が出来上がり、装具の見積書を市町村に提出し、手続き後に交付となります。 それまでは自費購入です。 | | 離床の説明をします。 なるべく早期に歩いたほうが回復が早まります。 | 日中は蓄尿バックをはずし、トイレで尿を捨てる練習をします。夜間は蓄尿バックを付けます。 装具交換の練習を始めます。ご家族の方にも参加していただきます。 | 装具を決定します。 入浴指導（入浴時の装具交換について説明）します。 1日に1000～1500mLの尿量を目安に、1500～2000mLの水分を摂りましょう。（夕食後からは控えめに） | 退院後使用する装具を購入していただきます。 ケアテックで今後の装具購入方法について確認と申し込みをしていただきます。 退院時指導を行います。 |
| 治療処置点滴 | 時間毎に血圧、熱の変化を観察します。点滴は手術後も行います。お腹の管（ドレーン）の量や色を観察します。 | ストーマの装具を貼り替えます。（以後、適宜交換していきます） | | | リンパ浮腫外来を受診していただきます。 | ドレーンを抜きます。 | |
| 検査 | 血液検査・レントゲン検査があります。 | | |  | 検査を行い、問題がなければストーマに留置しているカテーテルを抜きます。 | | |
| 内服 | 内服薬は医師の指示ができるまで中止です。 | | | 水分摂取開始後、医師の指示により内服薬を再開します。  | | | |
| 生活行動安静度 | ベッド上で安静にさせていただきます。 下肢静脈血栓予防のためフットポンプでマッサージします。 | 医師の指示により、ベッド上で座ったり、動く練習をして、徐々に離床の準備をします。 | | 医師の指示により、歩行を開始します。 初回は看護師が付き添います。  | 特に制限はありません。 | | |
| 排泄 | 時間毎に尿やドレーン排泄の観察を行います。 | 歩行開始になるまで、排泄は基本的にはベッド上で行います。 | | 歩行開始後は、トイレで排泄できます。  | | | |
| 清潔 | | 体を拭きます。  | 下半身のみシャワー浴ができます。  | | 傷の状態をみて、全身のシャワー浴ができます。 | 入浴ができます。  | |
| 食事 | 医師の指示があるまで水分や食事は摂取することができません。 | | 主治医の指示で水分を摂り、状況を見ながら流動食から開始します。 お粥から徐々に米飯になります。クランベリージュースが朝夕つきます。  | | | | |
| その他 | ・痛みなど症状があるときは、看護師に知らせてください。 ・付き添いは必要ありません。 | | | | | | 退院後に異常がありましたらすぐにご連絡ください。 |

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
泌尿器科